

|            |             |
|------------|-------------|
| 講義科目 : 金融論 | 単位数 : 4     |
| 担当 : 石原 洋介 | 学習形態 : 選択科目 |

### 講義の内容・方法および到達目標

- ・貨幣の役割や金融制度の仕組みを学び、金融に関する基礎知識や金融リテラシー（お金の知識・判断力）を身につける。金融で上手に儲けるやり方を伝授するわけではない。
- ・金融に関する近年のトピックや最新の統計データを紹介しながら、日本と世界の金融に関する動向や金融政策の特徴について理解が深まるように努める。それらの情報から現代社会の課題を発見し、事実に基づき分析し、課題解決に向けて考察する力を伸ばすことを本講義の目標とする。

### 授業計画

- 第1回 ガイダンス（評価方法、レポート課題等）、貨幣の歴史① - 貨幣の起源 -
- 第2回 貨幣の歴史② - 日本の貨幣史 -
- 第3回 商品と貨幣、貨幣の発生① - 貨幣の発生 -
- 第4回 商品と貨幣、貨幣の発生② - 貨幣の発展段階と金本位制 -
- 第5回 貨幣の機能、通貨の発行① - 貨幣の機能 -
- 第6回 貨幣の機能、通貨の発行② - マネタリーベースとマネーストック -
- 第7回 資本循環、企業の資金調達① - 日本の資本循環、間接金融 -
- 第8回 資本循環、企業の資金調達② - 直接金融 -
- 第9回 日本の金融機関（銀行等）① - 日本の銀行業 -
- 第10回 日本の金融機関（銀行等）② - 協同組合系金融機関 -
- 第11回 日本の金融機関（保険・証券）① - 保険業、ノンバンカー -
- 第12回 日本の金融機関（保険・証券）② - 証券業、政府系金融機関 -
- 第13回 銀行融資と金利① - プライムレート、金利の構成要素 -
- 第14回 銀行融資と金利② - 金利の構成要素（つづき）、金利の変動要因 -
- 第15回 日本の財政と国債① - 国債の種類 -
- 第16回 日本の財政と国債② - 国債価格、国債格付け、国債発行の歴史 -
- 第17回 短期金融市場① - インターバンク市場 -
- 第18回 短期金融市場② - オープン市場 -
- 第19回 長期金融市場① - 証券取引所、債券市場 -
- 第20回 長期金融市場② - 株式市場 -
- 第21回 日本銀行と金融政策① - 日本銀行の歴史、独立姓、3つの機能 -
- 第22回 日本銀行と金融政策② - 伝統的金融政策 -
- 第23回 日本銀行と金融政策③ - 非伝統的金融政策 -
- 第24回 国際収支と外為市場① - 国際収支 -
- 第25回 国際収支と外為市場② - 外国為替取引、外国為替相場 -
- 第26回 国際収支と外為市場③ - 外国為替市場、外国為替相場をめぐる諸理論 -
- 第27回 デリバティブ市場① - デリバティブ取引の概要、先物取引 -
- 第28回 デリバティブ市場② - スワップ取引、オプション取引 -
- 第29回 サブプライム危機① - サブプライム危機発生の背景 -
- 第30回 サブプライム危機② - 金融システム改革に向けての教訓 -

### 教材・テキスト・参考文献等

特定のテキストは使用しない。各テーマの最初の講義でレジュメを配付する。

### 成績評価方法

レポート提出による評価が70%、平常点（出席、授業態度）が30%。

定期試験は実施しない。

レポート課題は最初の講義（ガイダンス）で発表する。

### その他

関連講義として「統計学」、「経済原論」、「経済政策」、「簿記原理」、「財政学」、「国際経済論」等の履修を推奨する。また、新聞を毎日読むように。